

「ハッ場ダムが洪水を防いだ」

日本列島に上陸した台風 19 号は、各地に豪雨をもたらしました。判明している人的被害は死者 88 名、行方不明者 7 名、負傷者 435 名にも上っています。10 月の連休を利用して、台風 19 号の爪痕を見てきました。

国が管理する 1 級河川が 7 河川、県が管理する 2 級河川が 67 河川が氾濫し、大きな被害となりました。

この台風で見直され、ネット上で話題になっているのが群馬県長野原にある「ハッ場ダム」です。

2009 年民主党政権で無駄な公共事業の代名詞のように言われ続け、2 年間工事がストップしていたハッ場ダム。

現在ほぼ完成しており、たまたま 10 月 1 日から試験湛水を行っていました。

10 月 11 日には標高 519.5m しかなかったハッ場ダムの貯水位は、台風通過後の 10 月 13 日には 575.4m となっており、約 55m も上昇していました。

台風 19 号が吾妻川に押し寄せた 12 日から 13 日にかけて、ハッ場ダムは 7500 万 m³ の洪水を溜め込んでいました。試験湛水中ということで、共用されている時とは状況は違うかもしれませんが、多くの人命や財産を救ったことは確かです。

過ってこの西宮でも、武庫川に造られる予定だった「生瀬ダム」が住民(武庫川上流部)の反対運動によって中止となりました。

代替え案として河床掘削や貯留槽等の建設が進められていますが、もし台風 19 号がこの阪神間を襲っていたら、降り始めから 1000 mm 以上の雨が降っていたら、甲子園口当りで武庫川が決壊し、甲子園球場もヒューイットもひとたまりもありません。

私は住宅地に水が溢れている光景を見ると 1989 年、ハワイに出発の日にポッポヤの地下駐車場が水没し尾川会員が急遽、ハワイ行きを取りやめたことを思い出します。

ハザードマップ等で洪水域を確認され、身の安全を確保して下さい。